

科目名	小児看護援助論Ⅱ				
担当講師名	紺野 知亜紀	所属・役職	主任看護教員	資格・免許	看護師
担当講師名	寺口 恵	所属・役職	二戸病院 主任看護師	資格・免許	専門看護師
授業形態	講義・GW・演習	単位数・時間数	1 単位 30 時間	開講年次	2 学年前期
講義の概要	<p>子どもの成長・発達や子どもの権利をふまえて、さまざまな健康状態に応じた看護と疾病に対する予防について学習する。子どもが本来持っている生きる力を強める関わりと、子どもとその家族に対する看護について学習する。</p> <p>そして、子どもを取り巻く社会環境や子どもの成長・発達に重要な影響力を持つ家族について、社会情勢や母子保健の動向を捉え、最善の利益を考えた看護のあり方を考察する。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態に合わせた子どもと家族の看護について理解できる。 ・健康状態に合わせた子どもと家族の状況をイメージし、自分がどのような看護をしたいか考えられる。 ・子どもの人権、最善の利益とは何か、自分の考えを述べることができる。 				
講義回数	講義内容				
1	1. 急性期にある子どもと家族への看護				
2	1) 救急処置が必要な子どもと家族への看護				
3	2) 周手術期における子どもと家族への看護				
4	3) 痛みを表現している子どもと家族への看護				
	4) 集中治療が必要な子どもと家族への看護 *保育器の管理演習				
5	2. 慢性期にある子どもと家族への看護				
6	1) 先天性疾患のある子どもと家族への看護				
7	2) 心身障害のある子どもと家族への看護				
	3) 医療的ケアを必要として退院する子どもと家族への看護				
8	3. 活動制限を要する子どもと家族への看護				
9	4. 感染予防の必要がある子どもと家族への看護				
10	5. 様々な状況にある子どもと家族への看護				
11	1) 災害を受けた子どもと家族への看護				
12	6. 終末期にある子どもと家族への看護				
	1) 子どもの死の理解				
	2) 子どもと家族への看護				
13	7. 病院における安全な環境 GW				
14	8. 子どもの最善の利益を考えた看護 GW				
15	児童の権利に関する条約、アドボカシー、インフォームドアセント 教員 6 時間 (3 回)				
教科書等	「健康障害をもつ小児の看護」メヂカルフレンド社 「小児看護実習ガイド」照林社 適宜、資料配布				
成績評価方法	出席状況、授業参加状況、課題、筆記試験等により総合的に評価する。				
履修上の留意点	既習の小児看護学の知識をふまえ授業に臨むこと。母性看護援助論Ⅱ新生児の看護も参考にすること。				
特記事項					